



平成 31 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 テクノデータサイエンス・エンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役社長 城谷 直彦
(コード番号:7046 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役執行役員専務 浦川 健
(TEL.03-6383-3261)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 1 月 31 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 12 月 18 日に公表しました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,351	百万円 151	百万円 160	百万円 105	円 銭 54.95
今回修正予想（B）	1,351	165	181	117	61.52
増 減 額（B－A）	0	14	21	12	
増 減 率（％）	0.0	9.2	13.1	11.4	
（参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期）	1,018	57	103	75	44.55

（注）平成 30 年 2 月 13 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を、平成 30 年 11 月 6 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。上記では、平成 30 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算出しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、豊富な解析技術を基に、既存顧客との深耕を図ったことによる受注拡大や、新規顧客開拓による受注獲得によって、前回発表予想のとおりに推移することを見込んでおります。

利益につきましては、第 4 四半期においては、今まで以上に人材確保・採用活動を含めた人材への投資及び新たに取り扱いを開始した製品の販売拡大を含むマーケティング投資を積極的に行う予定のため、第 3 四

半期までの各四半期と比較して費用の増加が見込まれますが、効率的なプロジェクト推進により、外注費が減少したことや、上場関連費用が想定よりも発生しなかったことから、経費総額が前回発表予想より下回る見込みであります。

以上の結果、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回発表予想を上回る見込みであります。

(業績予想に関する注意事項)

上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる数値となる可能性があります。

以 上